

Information

投稿してね!

あなたの「ごちそうさま」が誰かのごちそうさまに #ごちそうさまチャレンジ



#ごちそうさまチャレンジ
国連WFP協会 | For Zero Hunger

「食品ロス」と「飢餓」という2つの食料問題への関心を促し、さらに食品ロス削減の取り組みを通じて「寄付」ができるSNSキャンペーン「#ごちそうさまチャレンジ」を国連WFP協会は今年も実施いたします。**食品ロス削減につながる行動や“ごちそうさまポーズ”を、#ごちそうさまチャレンジをつけてSNSに投稿すると、1投稿につき150円が協力企業により国連WFPの学校給食支援に寄付されます。**本年はイベント時期(クリスマス、お正月、節分、バレンタインデー)に合わせて開催。「食品ロス」への関心も高まるこの時期に、食料問題について考え、そして途上国の子どもたちのために皆さんも行動してみませんか?



実施期間：2024年12月5日(木)～2025年2月16日(日)
対象SNS：X、Instagram、Facebook
キャンペーンサイト：<https://www.jawfp.org/worldfoodday2024/>

ごちそうさまチャレンジ 検索



ありがとうございました

WFPチャリティー エッセイコンテスト 表彰式LIVE配信決定!

本年もたくさんのご応募ありがとうございました。今年も表彰式をLIVE配信します。あの特別審査員が登場するかも!?ぜひご覧ください。



日時：2024年10月15日(火)14:00～
配信サイト：<https://www.wfpessay.jp/2024/>



<特別審査員>
・ふなっしーさん
・広瀬アリスさん(女優 / 国連WFP協会親善大使)
・竹下景子さん(俳優 / 国連WFP協会親善大使)

世界食料デー
2024.10.16

10月は世界の飢餓や食料問題について考え、解決に向けて一緒に行動する1か月です。すべての人と食べる幸せをわかち合える世界に向けて、一緒に行動しませんか。

身近にできる支援

レッドカップキャンペーン



国連WFPが学校給食を入れる容器として使っている「赤いカップ」を目印に、毎日のお買物で学校給食支援ができる国連WFP協会の**レッドカップキャンペーン**。新たに2社が参加しました。売り上げの一部は学校給食支援に寄付されます。

<https://www.jawfp.org/redcup/>

伊藤忠リーテイルリンク株式会社



スーツケース「ティエラル」シリーズ

スラマツ・エヌ・バナラ株式会社



有機JAS『オーガニックバナラビーンズ』など

「PayPay」で寄付がより簡単に!

「今回の寄付」が「PayPayマネー」でできるようになりました。

※「PayPayマネーライト」「PayPayポイント」はご利用いただけませんのでご注意ください。※「毎月の寄付」にはご利用いただけません。



国連WFP

国連世界食糧計画日本事務所・国連WFP協会
〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1 パシフィック横浜6F



<https://ja.wfp.org/>

SNS情報



寄付アプリ ShareTheMeal



ご寄付はこちら



飢餓から救う。
未来を救う。

SAVING LIVES CHANGING LIVES

国連の食料支援機関

国連WFP

ニュース Oct. 2024 Vol.74

ガザ地区で国連WFPから支援された豆の缶詰を温める少女。

© WFP/Ali Jadallah

「飢餓」と「飢きん」

- スーダン 世界最悪の飢餓危機
- ガザ地区 戦闘激化から1年
- 世界の飢餓人口、3年連続で高止まり

「飢餓」と「飢きん」



食料不安を計測する標準の「IPC(総合的食料安全保障レベル分類)」により、食料が十分にある状態から極度の飢餓に至るまで5段階に分類されます。

飢餓の最も重い分類「IPCフェーズ5」の「壊滅的な飢餓」と「飢きん」

IPCフェーズ5の「壊滅的な飢餓」は世帯レベルで、「飢きん」は地域レベルで分類されます。特定の地域に「壊滅的な飢餓」の世帯があっても、それだけでは「飢きん」とは言い切れません。「飢きん」が宣言されるには、「重度の飢餓」が起きているある特定の地域で、右図の3つの条件が揃う必要があります。

「壊滅的な飢餓」が「飢きん」宣言される3つの条件



過去の飢きん宣言

IPCが確立されてからの過去20年に「飢きん」が宣言されたのは、2011年のソマリアと2017年の南スーダンにおいての2回のみです。

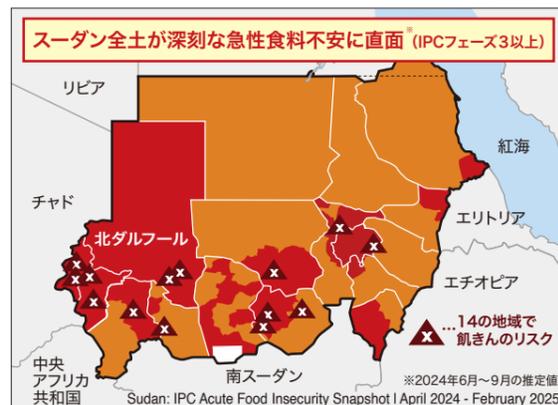


スーダン 世界最悪の飢餓危機

国内避難民キャンプで世界で3回目の飢きん宣言

スーダンの北ダルフール州にあるザムザム・キャンプで、死に至るほどの重度の飢餓が地域的に蔓延している「飢きん」が確認されました。国連やNGO、研究者などで構成する飢きん調査委員会(FRC)によると、世界で飢きんが宣言されたのは7年ぶりで、この20年で3回目となります。

キャンプには数十万人の国内避難民が避難していますが、長引く戦闘の影響で人道支援のアクセスが極めて限られ、支援が届きにくい状況が続いています。支援が届かないことで、2024年は推計73万人の子どもたちが、栄養不良により生命を脅かされる重度の急性栄養不良に苦しむとされています。スーダン国内では14の地域で飢きんに陥るリスクがあるとされており、FRCは国際社会が協調し行動を起こす必要があると警告しています。



スーダンの人口の約半数の2,560万人が急性の飢餓

国連WFPは8月下旬に、チャドとの国境からの支援物資運搬を開始しました。雨季のため運搬には困難を伴いますが、支援を届ける努力を続けます。スーダンの人口の約半数の2,560万人が急性の飢餓に直面しているとされています。また多くの人が国境を越えて避難をし、難民の受け入れ国側での負担も増大しています。隣国の南スーダンではハイパーインフレーションが起きるなど、周辺各国のさまざまなところに影響が及んでおり、地域規模での危機の深刻化が懸念されます。



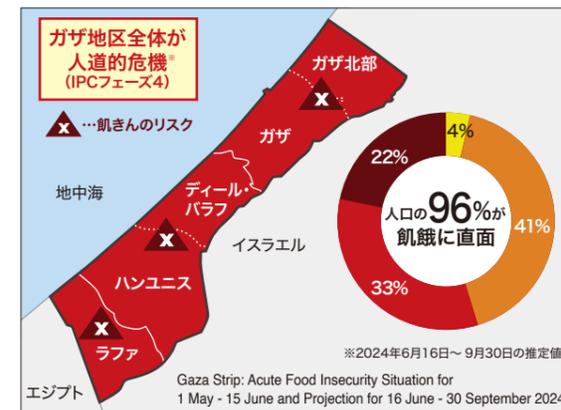
ガザ地区 戦闘激化から1年



深まる混迷と、深刻な飢餓

昨年10月7日にパレスチナ・ガザ地区での紛争が激化してから一年。日常を奪われ、戦火の下にいる人びとの状況は混迷を極めています。今なお200万人あまりの人びとが幾度も攻撃からの退避を強いられながら、命をつないでいます。

人口の96%が深刻な急性の飢餓に直面しており (IPCフェーズ3以上)、50万人以上の人びとが最も重いレベルの壊滅的な飢餓 (IPCフェーズ5) に瀕しています。



避難生活は過密状態で続き、食料や清潔な水、燃料も不足している中でまもなく冬を迎えようとしています。命を救うために国連WFPは支援を続けていきます。



「この子が私の腕の中で死んでしまうのではないかと心配でなりません。母親のサマさん」

紛争の激化のあとに生まれた娘を抱きながら母親のサマさんは話します。「ミルクもなく、清潔な水もない。娘の体には発疹がでて、お腹もよく下します。私自身も貧血症を患っています」サマさんは国連WFPから栄養補助食品を受け取っている女性の一人です。多くの家族が子どもたちに栄養価の高いものを食べさせるために、国連WFPからの支援に頼っています。国連WFPは毎月100万人以上の人びとに食料支援を届けると共に、1万人以上の妊産婦と2万5,000人以上の5歳未満の子どもたちに栄養補助食品を提供しています。

世界の飢餓人口、3年連続で高止まり

2023年に飢餓に直面した人は最大約7億5,700万人にのぼると新たに報告されました。これは世界の11人に1人に相当します。世界の飢餓のレベルは15年前の水準に後戻りしていて、2030年までに「飢餓をゼロに」を目指す持続可能な開発目標(SDGs)の目標2の達成に、大きく遅れをとっています。

- アフリカ… 飢餓が増加傾向にあります。飢餓に瀕する人びとの割合が最も高い地域となっていて、5人に1人が飢餓に直面しています。
- アジア… 世界で飢餓に直面している人びとの半数以上が住んでいます。
- 中南米… 改善傾向にあります。

世界の食料不安は紛争、気候変動、経済危機など、複合的な要因によって悪化しています。これらの問題は、手ごろな価格で健康的な食事を摂ることができない状況や、不健康な食環境、根強い不平等といった根本的な要因を増幅させています。

